

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------|----|------------|
| ○事業所名 | 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年2月16日 | | ～ R8年2月27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 13 | (回答者数) 12 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年3月2日 | | ～ R8年3月13日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年3月31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|--|
| 1 | こども園併設のためこども園との連携が密に行われており、子どもたちも園の延長線上で楽しんで通うことができる。 | くれーるでの様子だけでなく、クラスにも頻りに様子を見に行っている。担任の保育を後方から支援し、本人が楽しくクラスで生活できるよう、移行支援を意識して対応している。 | クラスとの共通理解をもっと保護者の方にもフィードバックできたら良いと感じている。 |
| 2 | 少人数のクラス編成により、子どもそれぞれに合った対応が可能。 | 目的が同じ活動(例えば、巧緻性を高める等)であっても、同じ用具を使うのではなく、個の発達課題に応じた段階の用具を準備し、個の様子を見ながら難しさのレベルも調整している。 | 少人数の中でも、同学年や異年齢のお友達の間わりがある。対職員だけでなく、子ども同士の間わりも積極的に促していきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 家族参加型の研修やプログラム等が未実施であること。 | 保護者の方のほとんどが平日日中は就労されていて、研修参加が難しいと考えられる。研修やプログラムを実施できるだけの人員配置の余裕がない。 | 実施してほしいという要望がなかったため実施しなかったが、ママ会やパパ会等、普段顔を合わせることもない保護者の方同士が集まり、交流する機会があってもよいのではと考えている。もし実施するならば土曜開催等も検討する必要がある。 |
| 2 | 日頃の活動内容をHPやSNSで公表したり、お便り等の発行をしていないこと。 | 昨年度の保護者の方の意見を参考に、不定期ではあるものの、活動写真付きのおたよりを配布させていただいた。職員の少ない事務時間の合間に作成しており、作成時間を確保する人員配置の余裕がない。 | 活動の様子は写真に収める等しているため、モニタリング時等に保護者の方に見ていただいたりして、保護者の方が本人の楽しんでいる姿を見る機会を持つようにしていきたい。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|---------------------|
| 事業所名 | 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe |
|------|---------------------|

公表日 R8年 3月 31日

利用児童数 12

回収数 12

| | チェック項目 | 評価 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|--|---|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 10 | 2 | | | ・庭がもう少し広ければと思う。 ・十分広いので問題ないと思います。 | 外で活動したい時は子ども園の園庭を活用しているので、狭くて子どもたちが思いっきり遊べないということがないように配慮しています。 | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 6 | 2 | | 4 | ・何名に対し何名で対応しているのか気にしたことがなかった。 | 昨年度は多い時で子ども4人に対し職員2~3人程度で対応しております。配置の件で昨年度はご迷惑とご心配をお掛けし申し訳ありませんでした。今年度も引き続きご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。 | |
| | 3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 9 | 3 | | | ・シンプルで分かりやすい | 構造化はまだまだ不十分なところがあるので、子どもに分かりやすい環境を目指します。また、バリアフリーではないため、身体障害のお子さんのお預かりは難しいのが現状です。 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 12 | | | | ・明るく清潔でホットカーベットが暖かかった。 | 冬のくれーるはとても寒く、はだして来る子どもたちが寒すぎないよう、工夫して過ごしております。 | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 12 | | | | ・長所と短所をよく見極めていただいている。 | できないことよりもできることを伸ばしていく支援を心がけています。 | |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 11 | 1 | | | | 支援プログラムはとねの会子ども園のHPにて公表しておりますのでお時間のある時にご覧ください。 | |
| | 7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 12 | | | | ・こちらのニーズを汲み取った上で、子どもに合った計画を作成いただいた。 | | |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 11 | | | 1 | | | |
| | 9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 12 | | | | ・計画通り、指先を使った動作ができるようになってきたり、発言も増えた。 | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 11 | | | 1 | ・様々な遊びを取り入れてもらっている。 | 職員で話し合い、基本的には遊交代で活動の計画を立てています。 | |
| | 11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。 | 8 | 2 | | 2 | ・とねの会子ども園なので。 | 活動によっては、子ども園の園庭を使用したり、同じお散歩コースに出ることがあります。その際は子ども園のお友達と一緒に活動することもあります。 | |
| 保護者 への 対応 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 11 | 1 | | | | | |
| | 13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 12 | | | | ・簡潔で分かりやすい説明なので助かります。 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 3 | 3 | 2 | 4 | ・資料をもらったことはある気がするが忘れてしまった。 ・いろんな情報提供をしてくれるので今後も参考にしたいと思います。 | 家族支援プログラムは、今年度も保護者の方からの問い合わせやご意見がなかったため実施しておりません。研修会のお知らせについてはチラシを配布する等して情報提供させていただきます。もし何かご希望の情報等ありましたら分かる範囲でお伝えしますのでご連絡をください。 | |
| | 15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 12 | | | | ・こちらから面談をお願いしたりもしている。 | 日頃の様子なるべく保護者の方にお伝えしており、お家での様子を聞きたい時は連絡をさせていただき教えていただくこともあります。子育てに関して心配なことがある場合には、遠慮せずご相談いただければと思います。 | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 12 | | | | ・悩みを相談する度、先生の助言を受け実施しています。 | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 11 | | | | 1 | ・共感的に支援とは？ ・自分の悩みに耳を傾け、話を聞いてくださるのでありがたいです。 | 職員もみな同じ子育て経験者です。不安や悩みは「自分だけなのかな？」とご家庭で抱えずに、いつでもご相談ください。 |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|----|---|---|---|---|--|
| 説明等 | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。 | 1 | 3 | 3 | 5 | ・保護者会に参加したことがない。 | 父母会や保護者会等は事業所主体では開催しておりません。今後開催を希望される声がありましたら検討いたしますのでご相談ください。 |
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 10 | | | 2 | ・いつも面談を申し込むとすぐに対応してくださるし、担任の先生との連携もとれている。 | 契約時に説明させていただいております。もし不明点等ありましたらいつでもご連絡ください。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 10 | 1 | | 1 | | 連絡帳のやり取り以外でも、担任に伝言を頼んだり、電話で直接お伝えさせていただくこともあります。文字にはしづらいことも、いつでもお電話いただけたらと思います。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 6 | 4 | | 2 | ・くれーるだよりを親子で楽しく拝見しています。 ・1回おたよりをいただいた。 | 昨年度の保護者の方からのご意見を参考に、不定期ですがお便りを配布させていただきました。楽しんでいただけているとのこと、嬉しく感じております。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 10 | 1 | | 1 | | 個人情報には鍵付きの場所に保管しております。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 4 | 3 | | 5 | ・説明を受けたかもしれないが忘れてしまった。 | 各種マニュアルや安全計画はくれーるの入口に閲覧用ファイルを備え付けてあり、そちらで自由に見ただけようになっております。モニタリング時等、くれーるに来所された時にいつでもご覧ください。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 8 | | | 4 | ・訓練が行われているか不明。 | 訓練は自然災害、防犯等、子ども園で月に一度以上実施しており、実施時には合同で避難等しております。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | 2 | ・入所の時説明があったと思う。 | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 9 | 1 | | 2 | ・入所の時説明があったと思う。 | 幸い大きな怪我や事故なく1年過ごすことができました。小さな怪我や気になる点は子ども園看護師に指示を仰いでいます。いざという時には速やかにご連絡いたしますので、ご協力をよろしくお願いたします。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 12 | | | | ・「あしたくれーるあるよ」「くれーるたのしかった」等言っている。 | 日頃から、「くれーる楽しいと言っている」と多くの保護者の方からお声をいただいております。子どもたちがそう思ってくれていることが何よりの評価です。もちろん楽しい場でもありつつ、遊びながら個々が少しずつでも成長できる支援を目指しています。保護者の皆様も、ご家庭での育児の不安や心配事などはお気軽にご相談いただき、保護者の皆様と共に子どもたちの成長を見守っていきたくと思っています。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 12 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 12 | | | | ・この数カ月でとても成長したと感じる。 | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe | | 公表日 | | R8 年 3 月 3 1 日 | |
|----------|---------------------|--|-----|---------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 未就学児と小学生が同時に利用する時間をなるべく減らすことで、スペースを確保した。 | 放課後デイの利用者の方に利用時間についてご協力をいただくことになり、小学生が長く利用できない。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | | ○ | 職員のお休みが出た時に、代わりに入れる職員を配置した。 | 職員の人数がぎりぎり、配置が難しい。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | | ○ | 事業所自体は部屋数も少ないため、分かりやすい構造になっている。 | 玄関口が高く設計されており、車椅子利用の方等に向けたバリアフリー化は未実施。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 毎日清掃を行っている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | | ○ | 部屋数が少ないため、子どもに個別の部屋を使用させるという事はしていない。 | 相談室があるため、椅子やテーブル等を整理して危険な箇所を取り除き、子どもたちのクールダウンの部屋としても活用していきたい。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 毎週計画を立て、実施、振り返り、次の計画作成という流れで業務を行っている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 日頃から職員間での意見は共有しており、業務につなげている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 第三者評価については実施の予定は今のところない。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 県からの研修のお知らせや、外部研修については職員間で共有し、興味のある研修には参加できるように進めている。 | 配置が厳しくなかなか研修に参加できていないのが現状。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | HPにて公表している。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | ○ | | 計画作成の際は職員間でこどもに対するアセスメントを共有し、ニーズも反映させながら作成を行っている。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 個別支援計画作成会議を通して、職員の意見を取り入れながら作成している。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 計画は職員が見られる場所に保管しており、週の計画作成の参考にできるようにしている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 事業所ではフォーマルアセスメントは実施しないが、医療機関で実施した結果等を共有していただき、参考にさせていただいている。 | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 項目の通り、設定している。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | | ○ | 週の活動については担当者を交代しながら作成しており、担当者が行いたい活動を計画することもあれば、他の職員に相談して計画することもある。 | |

| | | | | | |
|--------------|--|--|---|--|---------------------------------|
| 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | 担当者が毎回固定にならないようしており、複数の視点から活動が計画できるようにしている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | 必要であれば個別で活動を計画することもあり、その場合は自由遊びの時間を個別に使うなどしている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | 朝の時間に職員間で打合せを実施し、その日一日の確認を行っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | 打合せとしてまとまった時間はとれていないが、口頭で確認し合い、振り返りや気付きを共有している。 | 配置が厳しく、まとまった打合せや会議の時間がなかなか取れない。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | その日の記録及び、個人の記録を残すようにしており、何か変わったことがあれば職員間で共有している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | 6か月に一度はモニタリングを実施しており、ニーズや目標の見直しを行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | 毎回管理者が出席するようにしている。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | 市や医療機関等、関係機関とは普段から密に連絡を取り合っており、情報共有を行っている。 | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | 現在児童発達支援を利用しているこどもは全員こども園と併行利用している。そのため、クラス担任や関わる職員との日々の情報共有は丁寧に行っている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | 小学校との引継ぎには管理者も出席し、事業所での様子等の引継ぎを行っている。 | |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | ○ | 基幹相談支援センターと連携し、不明な点は相談しながら解決している。 | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | こども園の敷地内で活動することも多いため、お散歩コースが同じになったり、同じ遊具で遊ぶこともあり、その際は異年齢でも交流することがある。 | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | 連絡帳にてやり取りしているが、それ以外にもお迎え時に直接お話をしたりして共通理解を図るようにしている。 | 園外への外出はしないため、園外の子どもたちとの交流は持てない。 |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | 家族支援プログラムについてはご希望なく実施していない。 | | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | 契約時に説明を行っている。 | | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | 契約後にアセスメントの機会を設けており、その際に詳しくご意向について確認させていただいている。 | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|------------------------------------|---|----------------------------|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | 計画作成時や、モニタリング時に説明を行い、サインをいただいている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 保護者の方からのご相談は随時受け付けており、営業時間内であれば面談等の対応もやっている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | 今のところ実施してほしいという要望もなく、保護者・きょうだい同士の交流の機会は設けていない。 | 利用者の方からのご要望があれば検討する。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 対応の体制は重要事項説明書に記載の通り。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 日々の活動の様子は個々に違っていることもあり、個々の連絡帳に詳しく記載してお知らせするようにしている。全体としての通信等は発行していない。 | 必要事項は別途お知らせを配布することで対応している。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 鍵付きの書庫で保管している。 | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 連絡帳のやり取りだけでは不十分なこともあるため、電話連絡も活用している。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | 事業所では行事等は行っていない。 | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | マニュアル類はくれーる出入口に閲覧用ファイルを置いている。訓練はこども園と同時にやっている。 | |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 訓練は年に一度程度行っている。 | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 計画作成のためのアセスメント時に必ず確認を行っている。 | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。 | ○ | | 意思の指示書をお預かりし、お弁当を持参する等の対応をお願いしている。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 年間の安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施し、記録に残している。 | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 年間の安全計画に基づき訓練を実施。子どもたちが参加した場合には連絡帳へ記載している。 | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 記録して残し、職員間で共有して再発防止策を検討し、すぐに実施している。 | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 年に一度虐待防止、身体拘束適正化の委員会、研修を実施している。 | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | | ○ | 今のところ身体拘束を行うことはないので、計画への記載も行っていない。 | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------|---|------------|
| ○事業所名 | 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年2月16日 | | ～ R8年2月27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年3月2日 | | ～ R8年3月17日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年3月31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 訪問支援を併用している利用者の方が多く、学校との連携が取りやすい。 | 訪問を実施していなかったとしても、学校には連絡を取って、担任と情報共有している。担任がどのように本人の学校生活を進めていきたいかという考えを尊重し、必要であれば保護者の方にも学校と情報共有した内容を伝達する等して、教育と福祉がチームとなって家族を支援していけるよう意識している。 | 可能な限り学校に訪問したり、情報共有したりする時間を確保していく。 |
| 2 | 保護者の方の育児の悩みや不安なこと等のご相談に対応していること。 | 子育ての不安に関する相談については、なるべくすぐに対応できるよう意識している。近年子育てに協力的なお父さんも増え、面談やご相談にお母さんと共にいらっしゃるお父さんもかなり増えてきたので、お父さんにも遠慮せずに来ていただけるような、相談しやすい雰囲気作りを意識している。 | 平日はどうしてもお仕事で忙しい方も多いため、メールも活用していただけるよう促していきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 職員配置が困難なことがある。 | 新規職員の入職が思うように進まず、職員の急な休み等に対応できる人員の確保ができなかった。 | 採用活動の継続。保護者の皆様のご理解の元、学童や他事業所の併用等、事業所の急なお休み等にも対応していただけるよう進めている。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe

公表日 R8年 3月 31日

利用児童数 6

回収数 6

| | チェック項目 | | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|-------|--|---|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 3 | 3 | | | | 職員配置の件では、日頃より放デイ利用の皆様にご迷惑をお掛けしてしまい大変申し訳ありません。ご協力いただき、ありがとうございます。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 5 | 1 | | | ・言語聴覚士など専門分野の方がいればなおいいと思います。 | ・医療機関や市役所の専門職等、他機関の専門職の意見も聞きながら、対応させていただいております。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | ・支援プログラムはくれーるToNeのHPで確認することができますので、不明点等ありましたらいつでもご相談ください。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | |
| | 10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 5 | | | 1 | | |
| | 11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 2 | 1 | 2 | 1 | | 他の子どもと活動する機会は特に設けておりませんが、こども園の園庭で遊んでいると、まれにお迎えに来たきょうだいの友達と遊ぶことがあります。 |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 6 | | | | | |
| | 13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 6 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 3 | | 2 | 1 | | 家族支援プログラム等の研修会は実施しておりませんが、他機関での研修のお知らせについてはくれーる入口の下駄箱の上に掲示したり、配布したりすることもありますのでご覧ください。 |
| | 15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | | | | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| 18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 1 | 1 | 3 | 1 | | 保護者の方同士の交流の機会は今のところ設けておりません。ご希望がありましたらご連絡ください。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|---|--|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 6 | | | | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | 保護者の方にはなるべくお迎えの時に様子を口頭でお伝えしています。終了時間ぎりぎりだとなかなか話せないで、お迎えは時間に余裕を持ってお越しください。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 3 | 1 | | 2 | | 日頃の活動の様子は個々によって違うため、連絡帳をご覧ください。自己評価の結果につきましてはHPにて公表しますのでご覧ください。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 3 | 1 | | 2 | | ・放デイのほうでの訓練状況が分からないため。 放デイでもどねの会子ども園の訓練実施と同時間に訓練を実施しております。その時活動している場所によって避難をしたりすることもあります。 上記の通り。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 4 | | | 2 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 4 | 2 | | | | 発生時には事案の内容によって確認等でお時間いただくこともありますが、基本的には保護者の方に速やかにご報告させていただきますので、よろしく願いいたします。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 6 | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 6 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 6 | | | | | ・子どもが安心して楽しみに通っている。 送迎や利用時間の調整等、日頃からご協力をいただきありがとうございます。今後も満足していただけるような支援を行っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | くれーるToNe | | | 公表日 | R8 年 3月 31日 | |
|---------|----------|--|-----|---------|---|---|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | △ | | 個々にやりたいことが違うため、狭いと感じる時には外に出たり、遊びの内容を考えたりして対応している。 | 活動場所を分けたくても、人員の配置が取れず分けられないことが課題。遊びの内容を工夫して楽しめるように対応している。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | △ | | 職員が少なくても、子どもたちが楽しく過ごせるように利用曜日を調整している。 | 子ども同士のトラブルで、それぞれに対応してあげたいのに人員の配置で対応してあげられないことがあるのが課題。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | △ | | 事業所自体は部屋数も少ないため、分かりやすい構造になっている。 | 玄関口が高く設計されており、車椅子利用の方等に向けたバリアフリー化は未実施。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | ダイナミックに遊ぶ子もいたり、集中して座って遊びたい子もいたりとお過ごし方は様々であるが、場面の切り替わり時には一度片付けをするよう言葉かけしている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | | ○ | 部屋数が少ないため、子どもに個別の部屋を使用させるといことはしていない。 | 相談室があるため、椅子やテーブル等を整理して危険な箇所を取り除き、子どもたちのクールダウンの部屋としても活用していきたい。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 日々の振り返りを次回の活動に活かしている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎日の振り返りに加えて、月に一度の全体会議の実施、個別支援計画作成会議等、職員間で情報共有をする機会を設けている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 第三者評価については実施の予定は今のところない。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 県からの研修のお知らせ、外部研修については職員間で共有し、興味のある研修には参加できるように進めている。 | 毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見をいただき、業務改善の手がかりとさせていただいている。 |
| 適 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | HPIにて公表している。 | 毎日の振り返りに加えて、月に一度の全体会議の実施、個別支援計画作成会議等、職員間で情報共有をする機会を設けている。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | 計画作成の際は職員間でこどもに対するアセスメントを共有し、ニーズも反映させながら作成を行っている。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 個別支援計画作成会議を通して、職員の意見を取り入れながら作成している。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 計画は職員が見られる場所に保管しており、週の計画作成の参考にできるようにしている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 事業所ではフォーマルアセスメントは実施しないが、医療機関で実施した結果等を共有していただき、参考にさせていただいている。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 項目の通り、設定している。 | |

| | | | | | | |
|--|--------------------------------------|--|---|---------------|--|--|
| 切 な 支 援 の 提 供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | | △ | 週の活動については担当者が交代で作成しており、担当者が行いたい活動を計画することもあれば、他の職員に相談して計画することもある。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | | ○ | 担当者が毎回固定にならないようにしており、複数の視点から活動が計画できるようにしている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | | ○ | 必要であれば個別で活動を計画することもあり、その場合は自由遊びの時間を個別に使うなどしている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | | ○ | 朝の時間に職員間で打合せを実施し、その日一日の確認を行っている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | | △ | その日にできない時も多いので、翌日引継ぎも含めて行っている。 | 職員みんなが集まる機会の確保がなかなか難しい。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | | ○ | その日の記録及び、個人の記録を残すようにしており、何か変わったことがあれば職員間で共有している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | | ○ | 6か月に一度はモニタリングを実施しており、ニーズや目標の見直しを行っている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 | | ○ | | 地域交流の機会はあまり持つことができていないが、子ども園の子どもたちとは関わる機会がある。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | | ○ | 活動内容は自己選択・自己決定を尊重しており、やりたいと思ったことができる限り叶うように支援を行っている。 | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | | ○ | 管理者が出席している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | | ○ | 毎回管理者が出席するようにしている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | | ○ | | 学校によっては下校時刻が変動しやすかったり、トラブル発生時に授業等で連絡がつかないこともあるため、日頃の送迎時から情報共有や連絡調整を担任と行っている。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | △ | | 同法人の子ども園の卒園生については情報共有がしやすいが、そうでない子どもについてはなかなか情報共有ができていないことが課題。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | ○ | 該当なし | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | | ○ | 機関相談支援センターと連携し、不明な点は相談しながら解決している。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | | 特に他の児童との交流の機会は設けていない。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | △ | 部会等、声が掛かった会に関しては管理者が参加している。 | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | | ○ | 連絡帳にてやり取りしているが、それ以外にもお迎え時に直接お話をしたりして共通理解を図るようにしている。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | △ | 家族支援プログラムについてはご希望なく実施していない。 | ペアレントトレーニング等を実施してほしいという要望があれば検討する。研修機会についてはお知らせを配布したり掲示したりして情報提供を行っている。 |
| 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | | ○ | 契約時に説明を行っている。 | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|------|--|----------------------------|
| 保護者への説明等 | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 契約後にアセスメントの機会を設けており、その際に詳しくご意向について確認させていただいている。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 計画作成時や、モニタリング時に説明を行い、サインをいただいている。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 保護者の方からのご相談は随時受け付けており、営業時間内であれば面談等の対応も行っている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | 今のところ実施してほしいという要望もなく、保護者・きょうだい同士の交流の機軸は設けていない。 | 利用者の方からのご要望があれば検討する。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 対応の体制は重要事項説明書に記載の通り。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | △ | | 日々の活動の様子は個々の連絡帳に詳しく記載してお知らせしている。今年度は不定期ではあるが、子どもの様子をお伝えするお便りを発行した。 | 必要事項は別途お知らせを配布することで対応している。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 鍵付きの書庫で保管している。 | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 連絡帳のやり取りだけでは不十分なこともあるため、電話連絡も活用している。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | 事業所では行事等は行っていない。 | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | マニュアル類はくれーる出入口に閲覧用ファイルを置いている。訓練は子ども園と同時にやっている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 訓練は年に一度程度行っている。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | ○ | | アセスメント時に必ず確認を行っている。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 医師からの指導票をお預かりし、おやつ等は持参していただいたり、別室で飲食する等して対応した。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 年間の安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施し、記録に残している。 | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 子どもと一緒に訓練を行った際には、連絡帳に記載してお知らせするようにしている。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 記録して残し、職員間で共有して再発防止策を検討し、すぐに実施している。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 年に一度虐待防止、身体拘束適正化の委員会、研修を実施している。 | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | | △ | 該当なし | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年2月16日 | | R8年2月27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 17 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年3月2日 | | R8年3月13日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | R8年2月16日 | | R8年2月27日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年3月31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 児発・放デイと併用しているお子様が多いことから、訪問とは別に普段からこども園や放デイの様子を見ている子どもたちが多く、普段の様子と比較検討できる。 | 訪問時には、普段と同じ様子なのか、それとも訪問支援員が来たことでいつもと違う様子なのかを聞くよう心がけている。また、訪問した後、担任の先生とフィードバックの時間を設けており、次につながる訪問を意識している。ご家族にも訪問記録をお渡しして、その時の内容を共有できるようにしている。 | 訪問という形ではなくても、職員と話す機会を定期的を持ち、実際の訪問につなげていくこともより有益なのではと感じる。一度の訪問をより質の高いものへとしていきたい。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 人員配置の都合で、保護者や訪問先からの訪問してほしいというニーズに対応しきれていない。 | 児発・放デイを同時進行で行っており、人員配置に余裕がないため定期的に訪問することが難しい。 | 児発・放デイの方の急なキャンセルで急遽配置に都合が付けられることになった場合に、あらかじめ希望が出ていた方から訪問に行くようにして対応してきた。今後も、保護者の方や訪問先のご理解の元、急な訪問でも対応してもらえよう、普段からの情報共有、連携を密にしていきたい。 |

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人とねの会 くれーるToNe

公表日 R8 年 3 月 31 日

利用児童数 17

回収数 10

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|--|----|---------------|-----|-------|---|---|
| | | | | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。 | 4 | 1 | | 5 | | 訪問時に特に教具等は持って行くことはありませんが、その場で遊んでいる遊具や教具を使って直接働きかけることがあります。 |
| | 2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。 | 8 | 2 | | | | くれーる内に面接室の備えがあります。必要な場合にはご利用いただけます。 |
| | 3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。 | 9 | | | 1 | | 訪問支援のことで分からないことがありましたらいつでもご連絡ください。 |
| | 4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 | 9 | | | 1 | | なるべくご家庭のご希望日に沿うよう対応しておりますが、ご希望に添えないこともあります。ご協力をよろしくお願いいたします。 |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。 | 3 | 2 | 2 | 3 | | 今年度は職員体制の関係でなかなか訪問に行くことができません。ご希望に添えず申し訳ありませんでした。訪問という形ではなくとも、こども園の様子を見たり、学校と情報共有はさせていただいております。 |
| | 6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 8 | 1 | | 1 | | 訪問に行く機会は少ないですが、子どもたちがクラスで楽しく過ごせるよう、1回の訪問でも担任が環境調整できるよう間接支援を工夫して対応させていただいております。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 9 | | | | 1 | こども園や学校の活動内容、保護者の方のその時のご意向も踏まえて直接支援、間接支援を行っているため、計画の文面はあまり具体的ではなかったかもしれませんが。今後は具体的に内容を記載するようにします。 |
| | 10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 10 | | | | | |
| | 13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 10 | | | | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。 | 4 | 1 | 2 | 3 | | 家族支援プログラム等の研修会はくれーるでは実施しておりませんが、他機関での研修のお知らせについてはくれーる入口の下駄箱の上に掲示したり、配布したりすることもありますのでご覧ください。 |
| | 15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 10 | | | | | ご希望に応じて個別で面談対応しております。ご希望がありましたらご連絡ください。 |
| 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 10 | | | | | | |
| 18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 9 | | | | 1 | 契約時の重要事項説明書に、相談・苦情窓口を記載しており、契約時にご説明させていただいております。電話やメールでも対応可能です。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|----|---|--|---|--------------------|---|
| | 19 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 20 | 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 8 | 1 | | 1 | | 自己評価の結果はホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。 |
| | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 | 9 | | | 1 | | 訪問時に子ども園で避難訓練が実施されている場合には、一緒に参加して、訓練時の様子も含めて様子を見させていただいております。 |
| 満足度 | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 10 | | | | | |
| | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 10 | | | | | |
| | 28 | 事業所の支援に満足していますか。 | 10 | | | | ・訪問支援が増えるといいと思います。 | ありがとうございます。ご希望に添えておらず申し訳ありません。ご希望通りに訪問できるようにしていきたいと思っています。 |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

社会福祉法人とねの会 くれーるToNe

公表日

R8 年 3月 31日

利用児童数

6

回収数

3

| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|----|---------------|-----|--|------------|
| 1 | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 3 | | | | |
| 2 | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 3 | | | | |
| 3 | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。 | 2 | 1 | | | |
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | | 3 | | | |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 2 | 1 | | | |
| その他のご意見 | | | | | ご意見を踏まえた対応 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援員からの説明は分かりやすかった。説明を取り入れて落ち着いて過ごせた。 ・ 園児や保護者にとっては訪問支援は1度でも意味があるように感じた。職員としては何度か定期的に入っただき子どもの姿を見てもらうことで、集団の中での子どもの成長や変化、支援方法を教えていただけると嬉しい。 | | | | | 訪問支援を希望されている方も年々増えており、受け入れ先からも来て欲しいという意見をいただくことがあり、今後より訪問の需要が高まっていくのではないかと感じている。周囲からの意見はもとより、実際支援を受ける側である本人の気持ちを一番大切に、本人に寄り添った支援をしていきたい。 | |

| | |
|----|---------------|
| 公表 | 事業所における自己評価結果 |
|----|---------------|

| 事業所名 | | くれーるToNe | | 公表日 | | R8 年 3月 31日 | |
|--------------------------------------|---|--|----|---|--|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 | |
| 環境 制 運 備 営 | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | ○ | | 訪問時に教具教材を持参することはないが、 こどもがその場で遊んでいる物を使用する ことはある。 | | |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | | 訪問支援員はいるものの、児童発達支援の方 の人員配置が揃わず、訪問に頻繁に行くこと ができなかった。 | |
| 業 務 改 善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。 | ○ | | 日々の振り返りを次回の活動に活かしてい る。 | | |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見を いただき、業務改善の手がかりとさせていた だいている。 | | |
| | 5 | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。 | ○ | | 毎日職員間で情報共有をする機会を設けてい る。 | | |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。 | | ○ | | 第三者評価については実施の予定は今のところ ない。 | |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 県からの研修のお知らせや、外部研修につい ては職員間で共有し、興味のある研修には参 加できるように進めている。 | 毎年1回保護者向け評価を実施し、ご意見を いただき、業務改善の手がかりとさせていた だいている。 | |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | 8 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。 | ○ | | 計画作成の際は職員間でこどもに対するアセ スメントを共有し、ニーズも反映させながら 作成を行っている。 | | |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | こども園のこどもたちについては、クラス担 任にもクラスの様子等情報共有しながら計画 に反映している。 | | |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | ○ | | | 学校の担任とは、計画作成後の共有になるこ とが多いため、計画作成前に情報共有を行う ようにする。 | |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。 | ○ | | 計画は職員が見られる場所に保管しており、 訪問に行く前には目を通すようにしている。 | | |
| | 12 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 事業所ではフォーマルアセスメントは実施し ないが、医療機関で実施した結果等を共有し ていただき、参考にさせていただいている。 | | |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。 | ○ | | それぞれのこどもの集団の中での課題をアセ スメントし、計画や実際の支援に反映してい る。 | | |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。 | ○ | | 計画は職員が見られる場所に保管しており、 週の計画作成の参考にできるようにしてい る。 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。 | ○ | | 前日か、遅くとも朝には訪問の確認を行って いる。 | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 訪問終了後に訪問時の様子について職員間で 共有している。 | | |
| 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。 | ○ | | 特に訪問先のクラス担任の理念や手法を尊重 し、負担を増やすことのないように配慮して いる。 | | | |
| 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。 | ○ | | 支援後に記録としてまとめ、担任や保護者 の方へ共有を行っている。 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|---------------------------------------|--|---|--------------------------------------|---|---|
| | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 個別支援計画の作成時やモニタリング時にクラスでの様子の変化や意向の確認を行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 管理者が出席している。 | |
| | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 訪問先学校や、こども園とは特に連携して情報共有を行っている。 | |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | ○ | | 小学校との引継ぎには管理者兼児発管も出席したり、電話でやり取りする等して訪問時の様子等の引継ぎを行っている。 | |
| | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | ○ | | 希望すれば参加できる環境を整えている。 | |
| | 24 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 毎回管理者が参加している。 | |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 訪問時の記録だけでなく、送迎時に伝えられる時にはその日の様子をお伝えしたり、モニタリング時に詳しくお話ししたりして共通理解を図っている。 | |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 家族支援プログラムについてはご希望なく実施していない。 | ペアレントトレーニング等を実施してほしいという要望があれば検討する。研修機会についてはお知らせを配布したり掲示したりして情報提供を行っている。 |
| 保護者等への説明等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に説明を行っている。 | |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | ○ | | 必要に応じて先生と面談を行い、訪問支援とは何かということから丁寧に説明を行い、訪問について理解を得られるようにしている。 | |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 契約後のアセスメント面談の際に、意向について確認を行っている。 | |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | ○ | | 計画作成時や、モニタリング時に説明を行い、サインをいただいている。 | |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 保護者の方からのご相談は随時受け付けており、営業時間内であれば面談等の対応も行っている。 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 今のところ実施してほしいという要望もなく、保護者・きょうだい同士の交流の機会は設けていない。 | 利用者の方からのご要望があれば検討する。 |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 対応の体制は重要事項説明書に記載の通り。 | |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | 日々の活動の様子は個々に違っていることもあり、個々の連絡帳に詳しく記載してお知らせするようにしている。全体としての通信等は発行していない。 | 必要事項は別途お知らせを配布することで対応している。 |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 鍵付きの書庫で保管している。 | |
| 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 連絡帳のやり取りだけでは不十分なこともあるため、電話連絡も活用している。 | | |
| 訪問先 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | ○ | | 訪問後や後日に時間を取って訪問先との振り返りを行っており、何か相談等があれば対応する時間を取っている。 | |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | ○ | | 訪問後の時間や、後日時間の取れるタイミングでカンファレンスを行って、次の訪問に活かしている。 | |

| | | | | | |
|---------|----|---|---|--|--|
| 施設への説明等 | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | ○ | 訪問の記録を作成し、担任とカンファレンスを終えた後に保護者の方へ共有している。 | 訪問利用者数が増えたことにより、各クラスとカンファレンスを行う時間がすぐには取れなくなり、保護者への共有が遅くなってしまった。今後改善していきたい。 |
| | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | 鍵付きの書庫で保管している。 | |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | ○ | 保護者の方の意向と、クラス担任の悩みが重なり支援がうまくいかないこともあるため、担任の抱える問題を丁寧に聞くように心がけている。 | |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | マニュアル類はくれーる出入口に閲覧用ファイルを置いている。訓練はこども園と同時にやっている。 | |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | 年間の安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施し、記録に残している。 | |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | 記録して残し、職員間で共有して再発防止策を検討し、すぐに実施している。 | |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | 年に一度虐待防止、身体拘束適正化の委員会、研修を実施している。 | |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | | 該当なし | |